



設計 旭測量設計
榎木野 秀康さん

宇城市の発展に寄与する 幹線道路

交通円滑化となるルートを選定しました。当時は、新幹線の開通に影響が出ないよう、また、田を分断しないよう心掛けていました。この道路が新しいまちづくりに寄与できたらうれしいです。



不知火側道路監督
宇城市 林田 拓馬さん

安全安心と 宇城市の未来へ

前任の先輩方が十数年かけていてきたものに最後の命を吹き込む作業を担当。緊張感と責任を感じながら仕上げました。皆さんに必要な不可欠で、愛される道路になることを願います。



不知火側道路・大野川橋監督
宇城市 藤本 誠さん

みなさんの思いが かたちになりました。

この道路は、住民や地権者の願いと協力、設計・施工者の知恵と技術力を結集し、それぞれの思いが“かたち”になったものです。未永く愛され、後世へ引き継がれる“みち”になると確信しています。



不知火側道路監督
宇城市 中山 誠さん

新しい道路を 満喫して下さい。

本線の大半は、農家さんの農地提供があったからこそ、完成まで至ることができました。そのことを少しでも感じながら、利用していただけたとうれしいです。ご協力ありがとうございました。



松橋側道路監督
宇城市 福田 真治さん

道づくりに感謝

本線と県道との交差点嵩上げ工事では、地盤が軟弱で、細心の注意を払った記憶がよみがえります。設計・施工者をはじめ、用地買収などにご協力いただいた地元住民の皆さんに深く感謝いたします。



計画
宇城市 平木 恵一さん

毎日利用にお

合併前から不知火支所一帯の渋滞緩和や防災、地域経済の発展に寄与するバイパス道路が計画できないかと話し合ってきました。その道路がやっと完成。宇城市の基幹道路として発展してほしいです。



舗装 宇城舗装
小桝 秀史さん

安全運転をお願いします。

無事故を心掛け、舗装工事などを行いました。工期が半年以上あったので、地元の皆さんとも顔なじみになりましたね。交通量が増えるので、利用者にはぜひ安全運転を心掛けてほしいです。



道路改良 宮田建設
中村 圭孝さん

地域の皆様の為に

施工箇所の地盤が弱かったため、施工完了後に不均一な沈下が発生しないよう品質・工程管理に気を配りました。地元企業として地域のために貢献できてよかったです。



道路改良 三洲建設
北岡 光さん

自分の手で いい物を作る

この道路は私が初めて主になって担当した思い入れがある現場。軟弱な地盤ですが傷まずに長く使えるように心掛けていました。この仕事は形に残るものを自分の手で作ることができるのが魅力です。



橋梁 中村建設所
江崎 利一さん

安全管理と品質管理 の徹底

橋台部分を建設しました。冬の作業だったので、ジェットヒーターで暖めながら、質の良いコンクリートづくりを意識。ミリ単位まで測量を徹底し、不具合が起こらないように気を付けました。



道路改良・橋梁・舗装
高橋建設 園田 勇さん

みんなの思いをひとつに

一生に一度の施工だと思って、災害にも負けない壊れない道路となるように頑丈に作りしました。地元や市役所の皆さんと協力しながら、作り上げた道路だと思っています。



道路改良・橋梁
中内土木 野田 徹さん

工事では人々とのコミュニケーションが 大切だと思っています。

下部工や道路改良を担当。湧水や梅雨時期の現場浸水、排水問題には苦労しました。しかし、地元の水利組合の方々と意見交換をすることで信頼関係が生まれ、円滑に仕事を進めることができました。



不知火小学校
松川 太知さん

子どもの 安全 第一

毎朝登校時に正門前の横断歩道で見守りをしています。長崎久具線ができて学校前の道路は渋滞が減りました。う回路ができたことで交通量が減り、児童の安全につながっていると感じています。



三和工業
成田 保夫さん

待ち望んだ道が 開通しました。

八代外港で資材を荷積みし、天草市や苓北町へ運んでいます。長距離を運転しているため、長崎久具線の開通を待望していました。移動が楽になり、往復で30分の時間短縮にもつながりました。



宇城広域連合南消防署
前田 典史さん

1分1秒でも早く

不知火・松合方面からの救急要請では2〜3分の時間短縮につながりました。交通量も分散し、朝夕の混雑も緩和。ただし、走りやすくスピードも出やすいので、皆で安全運転を心掛けましょう。

計画が完成品となって私たちの元へ

想いと技術が人を結ぶ

合併前から構想があった長崎久具線の整備。不知火支所前の交差点一帯で起きていた朝夕の慢性的な交通渋滞を緩和したいという市民の願いと地域住民の生活改善や地域経済に寄与する道となるようにという担当者の想いを技術者たちが結び熱意を重ねて“かたち”にしました。物流・観光の活性化、災害発生時の緊急避難

路としての大きな役割も期待され、地域の未来をつくっていきます。開通して間もない本線を娘たちと散歩していた不知火町の池上暢さん(41)は、「この道ができてからは渋滞もなく行き来できています。娘たちと新幹線を見に行くときにも便利です。」と笑顔を見せていました。